

# 第2回胡堂・あらえびす大賞 『読書と音楽の感想文コンクール』の 入賞者を紹介します



自身の作品を朗読する胡堂賞の受賞者



表彰式に参加した皆さん

町は1月22日、第2回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」の表彰式を野村胡堂・あらえびす記念館で行いました。野村胡堂は「銭形平次捕物控」などの作者として知られる小説家であり、「あらえびす」の名でフリスティック音楽の評論家として活躍した町の名誉町民です。このコンクールは、その功績をたたえ、広く町民の皆さんに読書と音楽に親しんでほしいという願いで始まったものです。

本年度は110点の応募があり、表彰式では胡堂賞・あらえびす賞・教育長賞の受賞者12人に賞状と副賞が手渡されました。その後、胡堂賞・あらえびす賞の受賞者が作品を朗読しました。本の登場人物に自分の生活体験を重ね合わせ、新たな気付きや心の変化をつづった読書感想文。そして音楽に触れて、体が震えるほど感動した思いを伝える音楽感想文に、家族や関係者約30人は、時折うなずきながら聞き入っていました。

バレエをテーマにした本を読んだ古館小学校6年生の佐々木咲綾さんは、鼓笛隊での経験から心を開くことの大切さについて書いた感想文を読み上げました。「今までは意見を言うことが恥ずかしかったけれど、積極的に意見を言えるようになりました。本を読むことでさまざまな体験ができ、自分の世界が広がります。これからもいろいろな分野の本を読みたいですね」と本がますます好きになったようでした。

入賞作品が掲載された感想文集を、図書館や各地区公民館などに配置しています。手に取ってご覧ください。

## 【第2回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」入賞者】 (賞・学校名・学年・氏名・題名/敬称略)

### ●読書感想文の部

#### 《小学生低学年の部》

##### 胡堂賞

赤石小学校2年 細谷 莉音  
「のこさないで食べるよ」

##### 教育長賞

水分小学校2年 鷹木 太一  
「ふしぎなひみつがたくさんある」

##### 優秀賞

古館小学校1年 岩崎 幸星  
「キツキツって、すごい!」  
赤石小学校1年 伊藤 衣織  
「たからもの」

#### 《小学生中学年の部》

##### 胡堂賞

彦部小学校4年 森田 結子  
「あきらめない心、協力する心」

##### 教育長賞

古館小学校4年 晴山 瑠乃  
「ちっこばあばの泣いた夜を読んで」

##### 優秀賞

日詰小学校3年 高橋 歩夢  
「お父さんのような大人になりたい」  
水分小学校4年 細川 大斗  
「もも子のねがい」

#### 《小学生高学年の部》

##### 胡堂賞

古館小学校6年 佐々木 咲綾  
「心を開いて」

##### 教育長賞

古館小学校6年 鳥居 琢磨  
「生きることの大切さ」

##### 優秀賞

日詰小学校5年 桜田 美優  
「自分自身に勝つこと」  
日詰小学校6年 今 咲由美  
「命の大切さを知って」

#### 《中学生の部》

##### 胡堂賞

紫波第一中学校2年 佐々木 深里  
「未来に向かって生きる」

##### 教育長賞

紫波第一中学校2年 山本 愛実  
「生きるということ」

##### 優秀賞

紫波第一中学校2年 村松 康太郎  
「自分を変えたキツネの言葉」  
紫波第二中学校3年 川村 海  
「笑顔でいること」

#### 《高校生の部》

#### 胡堂賞

紫波総合高校2年 工藤 逸奎  
「ホセ・ムヒカの言葉を読んで」

#### 教育長賞

紫波総合高校2年 丹内 宥佑  
「散っていった桜たち」

#### 優秀賞

紫波総合高校2年 熊谷 祐香  
「忘れてはいけない日」  
紫波総合高校3年 関野 叶恵  
「居場所」

#### ●音楽感想文の部

##### あらえびす賞

上平沢小学校6年 伊藤 聖華  
「初めてきたタンゴの演奏」

##### 教育長賞

上平沢小学校3年 北條 想達  
「心にのこった曲 さとうきび畑」

##### 優秀賞

上平沢小学校1年 伊藤 成実  
「おどるこねこをきいたよ。」  
赤沢小学校1年 大弓 まな美  
「うたが入ると」  
日詰小学校3年 小原 奈々  
「歌はわたしに元気をくれる」